

# 豊田市初代森林課長 故原田裕保さんを思んで

## 【経歴】

1956年愛知県生まれ。筑波大学第一学群社会学類卒業。1979年豊田市役所入庁。総務部、理財部、秘書室等を経て、1998年より環境部環境政策課で豊田市水道水源保全事業の立案、環境政策を担当し、その後産業部農林課に異動し林務行政等を担当。2005年4月（広域合併；上流6町村との合併）から産業部森林課長、2015年4月から産業部長を務めた。定年退職後は、藤岡南交流館館長として、子育てコーナー新設等に関わった。

## 【実績】

1994年4月から水道使用量1m<sup>3</sup>あたり1円を水道の水源となる上流の森林保全に充てるため、全国初の事例となる「豊田市水道水源保全基金」を設立した。そのほか、豊田市の森林行政の骨格となる「豊田市森づくり条例」「豊田市100年の森づくり構想」、施策である「地域森づくり会議」「とよた森林学校」など、我が国をリードする政策を次々と打ち出した。2013年以降、中核製材工場の誘致に尽力した（2018本格稼働）。

## 【親交のあった方々からのお別れの言葉】



平成の合併よりはるかに前から、稲武とか足助などの上流の森林が豊田市にとって大切であることを意識されていて、水道水源保全基金をつくられ、その後の東海豪雨で皆がその必要性に気付くことになりました。東海豪雨後には森林ボランティアを始められて、矢森協の発足にも関わられました。また、近年の製材工場の誘致に対しては先頭に立って活動をされていました。間もなく稼働する日を見届けられず、心残りだったと思います。本当に大切な方を失いました。

蔵治 光一郎氏（山部会座長）



原田さんとの最初の出会いは、流域の山主1000人調査で市役所を訪ねた時、最初は衝突しましたね。それが、豊田オイスカ森林塾と矢森協、森の健康診断の立ち上げではかけがえのない同志となりました。森林課職員が彼の元で一丸となって健康診断や間伐ボランティアと共働したのは感動的でした。あなたと息子さんと発明した「尺蔵」は今も全国の森で活躍していますよ。

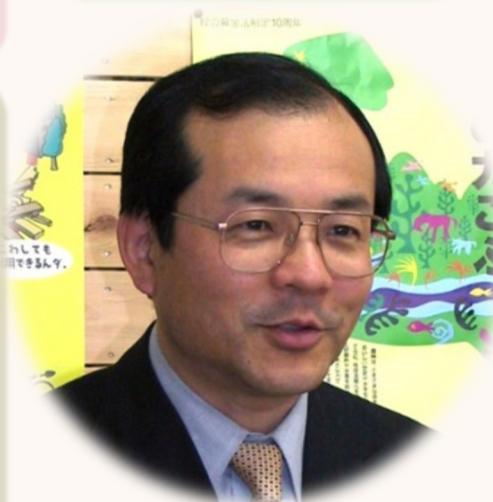
丹羽 健司氏（山部会副座長）



3月の講演会ではお元気な姿を見ていただけに、とても信じられない、寂しい気持ちでいっぱいです。今日の豊田の森林行政は、原田さんの知性と情熱なくしては絶対に生まれませんでした。凄と思うのは、行政マンとしてだけではなく、自らも森づくりの技術を学び、森林ボランティアをはじめとする市民とも強い人間関係を築き、豊田の森づくり・木づかい推進に貢献されたことです。屈託のない人柄で、美人だの大酒飲みだのとよくからかわれたことも懐かしく思い出されます。心よりご冥福をお祈り申し上げます  
洲崎 燈子氏（矢作1研究所 主任研究員）



豊田市の広域合併とともに森林課が誕生して、森づくり委員会ができ、森の健康診断が始まり、本当に理想的な行政マンだと全面的に支持してきました。とりわけ初期の森づくり委員会の自治的な運営、森林政策へのボトムアップは、もっともすぐれた歴史的なものだったと思います。その偉業が豊田市の歴史、自治の歴史にきざまれることを念願します。これからの森林をめぐるあり方について、もっともっと議論したかっただけに、残念でなりません  
山本 薫久氏（都市と農山村交流スローライフセンター 代表）



原田さんとは、愛知県職員であった2002年からの付き合いでした。2005年4月の豊田市森林課設立から10年以上、二人三脚で活動してこられたのは、本当に良い思い出です。原田さんは政策面で引っ張り、私は技術面でサポートしました。性格も好みも全く異なるが故に、とても良い関係が保て、一度も口論することなく、森林施策を進めることができました。本当に、本当に、ありがとうございました。

北岡 明彦氏（豊田市森林課 副主幹）



これまでの森林行政の成功は、森林管理のプロである北岡さんとのマッチングによるものだと思います。原田さんは、地方創生の中で、地域を一番に考えてくださり、私もその考えに賛同しました。彼の情熱は、部下である鈴木さんに受け継がれていると思います。自然の恩恵を理解し、今を生きる私たちが何をなすべきか、素晴らしい道しるべを示してくれて、ありがとう。

林 富造氏（豊田森林組合 元専務）



原田さんの名前は、全国の森林関係者に広く知られていました。入庁後は時には厳しく、時には優しく接していただきました。市の方針の「森づくり構想」を見直したいと発案した時は、どこか腑に落ちない様子でしたが、3年がかりのプロジェクトが始まってからは、ずっと背中を押してくれました。なんとかまとまった「新・森づくり構想」の冊子を、まさに届けようとした矢先の訃報に、呆然としてしまいました。残念でなりませんが、豊田市の森の行く末を、天国から見守ってくれていると思っています。

鈴木 春彦氏（豊田市森林課 担当長）



原田さんは、林業施策の根幹をなす豊田市独自の森づくり構想の策定、森づくり委員会の設置、木造公共施設建築における建築材料の分離発注方式の研究、中核製材工場の誘致と精力的に実践されてこられました。まさに稀代の真の林業政策マンであったと言っても過言ではありません。私は矢作川流域圏懇談会を通して、原田さんに勉強させていただきまし。あまりに若く、そして早く逝かれてしまいました。原田さんの願っていた森づくりや木づかいの推進に向けたその熱い魂をしっかりと受け止めたいと思います。そして、原田さんだったらこうするだろうなあーと原田さんの魂を感じながら、矢作川流域のよりよい森林づくり、あらゆる場面での多様な木づかい、そして流域に住む多くの市民がそんな森や木の恩恵によって幸せになれるような流域社会の構築に向けて、精力的に熱く活動し続けたいと思います。

今村 豊氏（根羽村森林組合 参事）



平成25年1月12日第会山部会WG（足助）にて



平成26年10月26日第10回森の健診報告会懇親会にて



平成27年10月18日とよた森林学校10周年記念にて



平成27年11月17日森づくり構想リニューアルシンポにて



平成29年旭木の駅定例会にて



平成29年5月3日矢森協安全講習会夜の会にて

写真提供: 矢作新報社 新見克也様  
 旭高原山楽会 鈴木敏治様  
 浜口美穂様  
 豊田市産業部農林振興室森林課 鈴木春彦様

自然の恩恵を理解し、今を生きる私たちが何をすべきか、  
 素晴らしい道しるべを示してくれて、ありがとう。

元豊田森林組合 林富造